

開催の趣旨

国の重要施策及び北海道が実施する交通安全対策上の諸問題を踏まえて、交通安全に関する学識経験者等の専門家による研究発表、討議等を実施し、もって交通事故防止のための有効適切な提言を得て、国民の交通安全意識の高揚を図ることを目的とする。

後援

警察庁
文部科学省
厚生労働省
国土交通省

協賛

交通安全シンポジウム推進協議会構成団体

(社) 日本自動車工業会
(財) 全日本交通安全協会
(社) 日本自動車連盟
(公財) 三井住友海上福祉財団
(財) 国際交通安全学会
(財) 日本交通安全教育普及協会

基調講演

ひらさわ まさゆき

平澤 匡介／(独) 土木研究所寒地土木研究所
寒地交通チーム主任研究員



1986年(昭61) 室蘭工業大学土木工学科卒。北海道開発局採用後、旧土木試験所道路研究室(現(独)土木研究所寒地土木研究所)、室蘭開発建設部、旧建設省土木研究所ITS研究室を経て現在に至る。2006年(平18)には「道路交通事故の分析と対策手法に関する研究」を学位論文として、室蘭工業大学より博士(工学)の学位授与。技術士(建設部門)。主な論文:「正面衝突事故対策としてのランブルストリップスの設置効果について」(2006年(平18)国土交通省国土技術研究会新技術活用部門最優秀賞受賞)

パネルディスカッション

【コーディネーター】

みぞはた みつお

溝端 光雄／首都大学東京(旧:都立保健科学大学) 大学院 客員教授
自由学園最高学部 非常勤講師



1977年(昭52) 愛媛大学大学院工学研究科土木工学専攻修了。同大助手を経て、1995年(平7) 東京都老人総合研究所(現:東京都健康長寿医療センター研究所)生活環境部門 室長、2000年(平12) 同所 研究副部長、2009年(平21) 4月より現職。専門は交通工学、都市計画学、老年学で、国や自治体の各種調査研究の委員なども務める。大学在職時から「人にやさしい交通環境」の整備に関する研究に従事。主な業績として、「新鉄道システム工学(共著)、山海堂刊、1988年(交通図書賞受賞)」、「高齢ドライバーと高齢歩行者の交通特性について、IATSS-Review、Vol.16、No.1、pp.49-57、1990年(国際交通安全学会論文賞受賞)」、「痴呆性老人のためのやさしい住まい、ワールドプランニング、1998年刊」、「クルマ社会のリ・デザイン、鹿島出版会、2004年刊」などがある。

【パネリスト】

おおや まさひと

大矢 雅彦／北海道警察本部交通部
交通企画課調査官(事故分析)



交通指導課暴走族対策統括官、指導取締統括官、釧路方面帯広警察署交通担当次長等を歴任し、平成22年4月から現職。昨年度内の交通事故による犠牲者は218人、交通事故による死者数がピークであった昭和46年の889人の4分の1以下まで減少している。今後、更なる交通事故死者数の減少のため、交通事故の発生時間、路線、事故の形態、更には季節ごとの交通事故の特徴などを詳細に分析し、その結果に基づき、高齢者対策、交差点対策等諸対策を推進しているとともに、多くの道民に交通事故の実態と事故に遭わないための対策等を道民に配信している。

たなか まさみ

田中 雅美／スポーツコメンテーター



北海道出身。1994年(平6)、日本選手権で100mと200mの平泳ぎで2冠を達成。翌1995年(平7)の同大会では、100m平泳ぎで11年ぶりの日本記録を更新し、注目を集める。その後、アトランタ、シドニー、アテネオリンピックに競泳日本代表として出場。2000年(平12)開催のシドニーオリンピックでは、女子400mメドレーリレーで大学の後輩2人を含むチームで銅メダルを獲得。現役引退後は、スポーツコメンテーターとして活動し、水泳講師としても全国で活躍している。現在、TBS「みのもんたの朝ズパッ!」、フジテレビ「知りたがり!」にコメンテーターとして出演中。

はぎわら とおる
萩原 亨

北海道大学・大学院
公共政策学連携研究部 教授



1984年(昭59) 3月北海道大学大学院工学研究科土木工学専攻修了。同年4月北海道大学工学部助手、1993年4月北海道大学工学部助教授、2009年(平21) 4月北海道大学大学院公共政策学連携研究部准教授、2010(平22) 年8月から現職。専門は、道路の交通安全に関する研究、ドライバーのヒューマンファクターに関する研究など。現在の社会的活動、(社)道路管理技術センター・道路管理技術員会幹事長、札幌市の自転車利用総合計画検討会議委員長、(社)日本照明学会理事など。

ひらさわ まさゆき

平澤 匡介／(独) 土木研究所寒地土木研究所
寒地交通チーム主任研究員

(基調講演に同じ)

ふじかわ たつお

藤川 達夫／(財) 日本自動車研究所 主席研究員
博士(工学)



1982(昭57) 東京農工大学工学研究科修士課程修了。その後、(財)日本自動車研究所に勤務。タイヤ工学を中心に自動車の安全・エネルギー・環境の研究に従事。2004年(平16)より、同研究所、予防安全研究部部長に就任、プロジェクト開発室主幹を経て現在に至る。発表・論文には、「タイヤの振動騒音を支配する路面凹凸パラメータ、2003」(共著)、「小学生を対象とした交通安全教育手法の検討、2008」(共著)、「ITSによるクルマの予防安全一研究の視点からの取り組み、2009」などがある。